

北海道建設新聞

2017年(平成29年)2月21日(火曜日)

国土地理院・電子地図に掲載

復元終えた増毛山道

幻の1級国道・増毛山道が国土地理院の電子地図に掲載。NPO法人増毛山道の会が中心になって作業を進め、昨年10月に復元された山道が地図上でも復活した。浜益岳付近を拡大していくと山道の点線表示が現れるという。同会の事務局長を務める小杉忠利小杉測量設計会長によると、増毛山道が地図に載ったのは1921(大正10)年に国が刊行した地形図が最後。「今後は永遠に地図に残るよう維持管理に

歴史と自然楽しめる観光資源へ

努めていきたい」と話している。国土地理院は、利用者の安全を図るため登山道については直営で地図化してきた。しかし近年は登山道の管理団体と連携して正確な登山道図づくりを進めている。増毛山道はまだ一般開放されていないが、山道の会主催でトレッキングが行われるなど知名度が高くなってきたことから同会の協力を得て携帯GPSで位置情報を取得し、今回の電子地図掲載

に至った。

これによりスマートフォンを携帯して登山道に入れば自身の正確な位置を確認できるようになり、山道の会の付添いがなくてもトレッキングを楽しめるようになる。

現在、石狩市を中心に暑寒別岳連峰と増毛山道を周遊できる登山コースを開拓する構想が練られているが、江戸末期に場所請負人の私費で開かれた山道の歴史と豊かな暑寒別岳の自然を楽しめる新たな観光資源利用への期待が高まっている。

(留萌)